

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報



高代園さんにて  
梨の袋掛け作業のお手伝い



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 75.0%

会報作成者 岡本

## 第2444回 例会 2024年 7月10日(水)

■国際ロータリー会長	ステファニー・A・アーチック	■例会日	- 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
■第2790地区ガバナー	寒郡 茂樹	■例会場	- 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■第13Gガバナー補佐	尾崎 裕一	■事務所	- 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
■松戸北ロータリークラブ会長	柳 孝実	■TEL/FAX	- 047-711-5950 / 047-711-5910
■松戸北ロータリークラブ幹事	関 征啓	■Web/Mail	- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp



## <第2444回 例会プログラム>

12:30 点鐘		柳孝実会長
	ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	
12:35 会食		
13:00 例会再開		
	会長挨拶・報告	柳孝実会長
	幹事挨拶・報告	関征啓幹事
13:10 就任挨拶		
13:25 【委員会報告】		
	出席親睦委員会 本日の出席率発表	大川高明委員長
	社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	高橋一彦委員長
	ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	小澤盛明委員長
13:30 点鐘		柳孝実会長

司会 野田亮会員



## <会長挨拶>

皆さんこんにちは。

今回は就任挨拶で私の想いをお伝えさせていただきましたが、今回は今年度国際ロータリーのステファニー・アーチック会長のテーマ『ロータリーのマジック』(The Magic of Rotary)について触れさせていただきます。米国ペンシルバニア州マクマーリー・ロータリークラブの会員であるアーチック会長はドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わった時にロータリーのマジックを体験しました。

汚い水がフィルターに入り透明な水が出てくるのを見ていた子供たちが『もう一度魔法を見せて』と言ったそうです。

もちろん浄水器で綺麗な水が出てきたことが魔法なのではありません。子供たちは安全な水を簡単に手に入れることができれば、自分たちの人生が変わるということを知っていたのです。今までは綺麗な水を手に入れるために、学校へ行く時間を削って、何時間もかけ水を汲みに行く必要があったのかもしれませんが、安全な水を簡単に手に入れられるということは、子供たちにとって人生を変えてしまうほどのマジックだったのです。

一方でこの浄水器設置のために、輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために懸命に活動された会長も、少しでも子供たちの人生を変える力になったことを知ったことで、会長自身の人生も変わったのです。

綺麗な水は子供たちの人生も会長の人生も変えました。

これがステファニー・アーチック会長の掲げたテーマ『ロータリーのマジック』です。

私自身はとても共感しやすいテーマであると同時に奉仕活動の原点を示されたテーマであると感じています。ロータリー活動に限らず、また規模の大小を問わなければ、このような体験は皆さんされたことがあるのではないのでしょうか。困っている人や社会の貢献することで、実は奉仕させていただいた側も多くの元気をもらっているということです。

私自身人生が変わってしまうほどの衝撃を受けた経験がありました。2011年4月東日本大震災の直後、南相馬市の避難所となっていた体育館に炊き出しに行った時の事でした。家を失い家族も失っている被災者の方々からいただいた感謝や温かい言葉の数々に、人の強さを肌で感じると同時に、自分がどれだけ小さなことで悩んでいたのか気付かされ、悩みが全て消え去り、自分の人生の価値観が大きく変わるターニングポイントになりました。

## 柳孝実会長



次ページへ続く

## <委員会報告&ニコニコ>



### 中原光男会員

誕生日のお祝いありがとうございます。暑さに負けず頑張ります。

### 小林弘会員

①柳会長、関幹事、1年間体調に気を付けて頑張ってください。  
②89回目の誕生日を迎えました。なんとか1年間ロータリーを続けられますように頑張ります。



### 吉田俊一会員

柳会長、関幹事年度の発展を祈念します。



小椋伸也会員へ「委嘱状」が渡されました。引き続きポリオ根絶活動をRCで取組んでいきます！



平野崇広会員へ「委嘱状」が渡されました。フェローカウンセラーとして活躍していきます！

《会報編集委員》 平野崇広・佐久間音弥・廣瀬淳一・岡本真理子・本間紗也香・佐藤友紀

社会奉仕基金  
2,454円



## WEEKLY REPORT

### ～職業奉仕委員会 小澤直之委員長～



今年度、職業奉仕委員長を仰せつかりました小澤です。大川高明会員を副委員長として大川隆永会員、高橋一彦会員の4名で一年間務めてまいります。目標として「会長の意向に沿った企画をし、関連委員会との連携を取り職業奉仕に関わる活動の実現を目指します」と掲げさせていただきました。前年度は日高屋の神田会長を呼んで講師例会を実施しましたが、あのレベルに近い講師が低コストでお招き出来るきっかけがあれば企画したいと思えます。また、会長の意向も反映して職業に特化した会員卓話も検討しています。先輩方には30年前、40年前の経済背景とその時代での職業関連のお話もいただけると盛り上がりそうなので合わせて検討しています。そして可能な限りでの企画となりますが、旅行を兼ねた企業見学等も親睦委員会とコラボして実現出来ればと思えます。今年度は、職業奉仕倫理等を学ぶというよりも職業を絡めて楽しむという方向性で運営していければと考えています。

### ～社会奉仕委員会 高橋一彦委員長～



社会奉仕委員会において、今年度の委員長を仰せつかりました高橋一彦です。メンバーとして副委員長に大塚精一会員。そして委員に、野澤新之助会員、小澤直之会員、南貴子会員を迎えての計5名による委員会構成となります。目標として、社会奉仕委員会を通して、現在行われている活動を遂行すると共に、ロータリークラブ会員としての在り方も学べる社会奉仕活動を立案し築く方向を目指し事を挙げております。こちらに対しての思考として、提案から事業計画の構築に至るまでは、会員皆様からのご意見も踏まえながら、計画に対しての内容をよく調べた上でロータリーとしての計画実施に向けた事に努力したいと思う次第です。これは、地区よりの助成金も活用させて頂いているクラブとしてのイメージ向上も意識した上でもございます。

活動計画といたしまして、以下の3項目を提示させていただきます。

1. 一般社団法人ダイバーシティA.C.千葉のアスリートへの支援継続。  
現在進行中の支援形態も維持しながら、会長の意向も含め、競技大会開催場所での応援支援も検討したく思っております。
2. なかよし学級の児童たちを招いての梨狩りの実施と支援対象校への詳細構築。  
近年より試験的な取り組みとして初めており、野澤新之助会員よりの尽力も賜り、地区助成金への対応と現在2校までの実施をさせて頂いております。  
過去の芋掘り支援事業に配慮すれば、なかよし学級の小学部3校にまでは平等に提供できればとの気持ちは会員皆様を抱えている事と存じます。助成金が求められない場合でも対応できるよう、また、松戸北クラブの1事業となるよう、時間は掛かると感じますが今期活動が社会奉仕委員会での事業構築に向けて手助けになればと考えております。
3. 国際奉仕委員会、会員増強委員会とも連携をとり、社会貢献への重視を念頭に置き、ロータリーのイメージ向上にも繋がる支援活動を模索・検討・立案・実施に努力する。  
公共へのイメージ向上は勿論のこと、近隣地区への協力や奉仕活動、その先にある会員増強に対し、また、クラブ内活動への配慮も含め、現在において2委員会とは特に連携が不可欠と考えます。社会奉仕活動への提案があった際は他委員会も絡め相談に応じて頂きたく思いますのでご承知をお願い申し上げます。  
1年間となりますが、思案へのご理解を得ながらの委員会活動にする様に努力いたしますので、クラブ会員皆様にご協力を宜しくお願い申し上げます。

## WEEKLY REPORT

本日の例会終了後、梨狩り体験でお世話になっている高代園さんに梨の袋掛けの作業のお手伝いに行っていました。梨狩り体験は過去参加いただいた多くの会員の皆様からも子供たちの笑顔が最高だったねという言葉をしていただいております。まさに『ロータリーのマジック』ではないでしょうか。9月11日の梨狩り体験には多くの会員の皆様と喜びを共有できることを楽しみにしています。



### ＜就任挨拶＞～出席親睦委員会 大川高明委員長～

### ～米山記念奨学会委員会 平田洋一委員長～



こんにちは。  
今年度、米山記念奨学会委員会の委員長を仰せつかった平田洋一です。副委員長には渡辺敏弘会員、委員には本間沙也香委員の3名で運営させていただきます。  
次の目標と活動計画に乗っ取って進めていきますので皆様のご協力よろしくお願いたします。

### ＜目標＞

「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したい」という戦後のロータリアンたちの強い願いを常に念頭に置き、将来、母国の各分野でリーダーとなる可能性のある奨学生に「平和国家・日本」への理解を深めてもらえるよう、米山記念奨学事業を活発に行ってまいります。

### ＜活動計画＞

1. 米山月間に奨学生を招いて卓話を行ってもらう
  2. 新メンバーが増えたため米山記念奨学会への理解を深めてもらう為に米山記念館へ訪問見学を企画する
- 10月の米山月間には奨学金のご寄付のご協力をお願いいたします。  
1年間、皆様のご協力よろしくお願致します。